

近畿情報通信講座「ICT教育推進セミナー」の開催 ～ICTが支える教育現場の実態と将来展望～

近畿総合通信局（局長：奥 英之（おく ひでゆき））は、教育現場における ICT 活用の現状を認識するほか、大学や図書館など各種教育実践現場における今後の ICT 活用に係るセミナーを開催いたします。

このセミナーでは、教育分野における ICT の利活用を推進する総務省ならびに文部科学省が、昨年度からクラウド技術等を活用した低コストでシームレスな学習・教育環境構築のための実証研究[※]を進めていること、および、本年5月14日に政府の教育再生実行会議よりなされた第7次提言において、「ICT活用による学びの環境の革新と情報活用能力の育成」が掲げられ、教育の情報化とともに児童生徒の学びが大きく変わろうとしていることを踏まえ、開催するものです。

なお、本講座は、現在開催中の「情報通信月間」関連行事として実施します。

※ 総務省と文部科学省は連携して「先導的教育システム実証事業」及び「先導的な教育体制構築事業」を3地域（福島県新地町、東京都荒川区、佐賀県武雄市）12校で行っています。各地域ではそれぞれ異なった課題を持ち「クラウドを活用した新しい学び」のあり方を検証しています。

1 開催日時及び場所

日時：平成27年6月29日（月）13時から16時45分まで

場所：大阪歴史博物館 講堂（4階）

（大阪市中央区大手前4丁目1-32 電話06-6946-5728）

2 主催等

（1）主催 総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会

（2）協賛 情報通信月間推進協議会、一般社団法人女性と地域活性化推進機構（WAO）

（3）後援 和歌山市教育委員会（予定）、一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）

3 内容

別紙プログラムをご参照ください。

4 対象・定員

自治体職員、教育関係者、ITベンダー等。

定員200名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

5 参加費

無料

6 参加申込方法

総務省近畿総合通信局 情報通信部 情報通信振興課に、6月22日（月）までに電子メールで申し込みください。

■件名 : ICT 教育セミナー 参加申込

■メール本文 : 参加者の ①氏名 ②所属(会社・団体名及び部署)

③連絡先(電話番号 電子メールアドレス)

※ 1回のメールにて複数名の連名での申込可。

■申込先メールアドレス seminar-kinki/atmark/soumu.go.jp

(迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しています。メールをお送りになる際には「/atmark/」を「@」に置き換えてください。)

7 個人情報の取り扱い

個人情報については、今回のセミナーの参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託は行いません。

8 関係報道資料等

・「教育 ICT の新しいスタイル クラウド導入ガイドブック 2015」の公表

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000065.html

・「先導的教育システム実証事業評価委員会」の開催状況

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/sendou.html

・総務省「先導的教育システム実証事業」及び文部科学省「先導的な教育体制構築事業」に係る提案公募の結果

http://www.soumu.go.jp/main_content/000316516.pdf

・文部科学省「教育の情報化」ホームページ

<http://jouhouka.mext.go.jp/>

連絡先：情報通信部 情報通信振興課 担当：松山 山崎 電話：06-6942-8520
--

<参考>

【情報通信月間参加行事とは】

情報通信月間は、昭和60年4月の情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられ、毎年5月15日から6月15日の期間を中心に、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催し、それらを通して国民に新時代の情報通信についての理解と協力を求めていくこととしているものです。

(情報通信月間ホームページ <http://jtgkn.com/>)

ICT教育推進セミナー プログラム

1 主催者あいさつ

2 基調講演

演題 「使えるシームレスな学修支援環境のもたらすもの」

講師 広島市立大学大学院情報科学研究科教授／附属図書館長 前田 香織 氏

要旨 インターネット、クラウド、仮想基盤などの技術進展により世界の情報基盤は進化を続けています。大学の教育・研究を支える情報基盤も変遷してきましたが、この過程においてインフラ整備の変化の枠を越え、教育スタイル、学修支援の考え方、組織の在り方にも変化をもたらしています。大学教育における変遷の例を紹介し、今後の学修支援環境について考えます。

3 講演

演題 「教育の情報化に関する総務省の取組について」

講師 総務省 情報流通行政局 情報通信利用促進課 課長補佐 柳迫 泰宏

要旨 総務省では、クラウド技術等の活用により、デジタル教材が広く流通・利用され、全国どこでも低コストでICTを効果的に活用した学習・教育環境の実現を目指して、文部科学省とも連携しながら、教育の情報化を推進しています。本講演では、教育の情報化に関する総務省の取組、官民連携の動向等についてご紹介します。

4 講演

演題 「教育の情報化の動向について」

講師 文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 課長補佐 降旗 友宏 氏

要旨 文部科学省では、ICTを効果的に活用しながら、子供たちの主体的・協働的な学びや学力の向上の実現を目指して、総務省とも連携しながら、教育の情報化を推進しています。本講演では、最近の国における教育の情報化の政策動向などにつきましてご紹介します。

5 講演

演題 「今後の教育の情報化に向けて－APPLIC教育WGの活動－」

講師 一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）テクニカルアドバイザー
富士通株式会社 小中高ビジネス推進部エキスパート 奥田 聡 氏

要旨 APPLICの教育WGでは、校務情報化推進のため、自治体間の情報連携に寄与すべく校務のデータ連携標準を整備。昨年は校務ベンダー9社20製品が相互接続試験に合格しAPPLICのマークを取得。今年度は、端末・ネットワーク・クラウドと幅広い視点でAPPLICが寄与できる分野の検討を開始。

休憩

6 パネルディスカッション

テーマ 「ICTが支える教育現場の将来（仮）」

コーディネーター

前田 香織 氏

（広島市立大学大学院情報科学研究科教授/附属図書館長）

パネリスト

■玄藤 一則 氏

（大阪市教育センター 教育振興担当 首席指導主事）

■角田 佳隆 氏

（和歌山市立東中学校 教頭/Microsoft Expert Educator Education Leader）

■柳迫 泰宏

（総務省 情報流通行政局 情報通信利用促進課 課長補佐）

■降旗 友宏 氏

（文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 課長補佐）

■奥田 聡 氏

（一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）テクニカルアドバイザー
富士通株式会社 小中高ビジネス推進部エキスパート）

7 質疑応答

8 閉会のあいさつ

以上